

～競技用ライフル銃のご紹介～

当店では主にワルサー社の銃を取り扱っております。

○空気銃：LG400 が販売してから海外だけでなく国内のランキング上位者や全日本規模のファイナルでも使用者が増えています。

○スモールボアライフル：ワルサー銃の精度は以前から非常に良く、2016 年リオオリンピックの伏射種目では KK300 を使用した選手が金メダルを獲得しました。新型のスモールボアライフル KK500 はショートボルトの採用など現在の主流の機能を取り入れています。販売されてから普及するまでも早く、使用者がどんどん増えています。

○エアピストル：LP500 は他社の銃よりも軽く設計されておりますので腕の負担が少なくてすみます。また、電子トリガーとメカニカルトリガーがユニット交換できるので銃を所持してからもお好みで選ぶことができます。

エアライフル(AR)



スモールボアライフル(SB)



エアピストル(AP)



エアライフル

ワルサーLG400 モノテック



全長 98.5cm

重量 5.0kg

銃身をストックと直接固定することで機関部のバイブレーションの影響を抑え命中精度を高める構造の最上位ストック。

ワルサーLG400 アナトミック



全長 99.0cm

重量 4.6kg

ラミネートと金属パーツを組み合わせることでアルミストックに近いセッティング調整ができるラミネートストック。

ワルサーLG400 エキスパート



全長 100.5cm

重量 4.7kg

アルミストックの上位モデル。スタイリッシュなデザイン通りのシャープなフィーリング。

ワルサーLG400 コンペティション



全長 102.0cm

重量 4.5kg

お手頃な価格でありながら十分な性能を持つストック。

ワルサーLG400の特徴

○無振動システムを搭載したトリガー機構
一度ワルサーを使ったらやめられないという人も
いるほどワルサーのトリガーは大好評。
撃発時にシアが落ちる際のフィーリングが
自然でキレイです。
トリガーの引き味は違いますが、気温や湿度に
左右されにくい電子トリガーモデルもあります。



○カーボンを採用した銃身
ライフル銃はどうしても銃口側が重くなって
しまうが、銃身を金属ではなくカーボンで覆う
ことで銃口側を軽くし、重量バランスが良
くなっています。また、振動吸収効果もあります。
銃口側を重くしたいときはバレルウェイトを
取り付けることで調整ができます。



○コッキングレバー
工具一つでコッキングレバーの上向き、下向き、
右側、左側の付け替えが可能です。



調整範囲が広いストック

バットプレート、チークピース、フォアエンド、バットストックと十分に調節できます。
また、シリンダーもスチール（750g）からアルミ（460g）へ変えることで 300g 近く軽くすることが
できるのでバランス調整も可能です。
グリップはプロタッチとアナトミックと交換でき、規格が違うグリップに交換することが可能です。
どちらも S、M、L サイズがあります（左は M のみ）。



窒気室：クイッククリーンシステム
小型化/軽量化され、クイッククリーン
エアフィルタが搭載されました。
窒気室内の圧力を基本設定の 70 気圧に
維持することが容易になり、発射時の
弾速が安定しました。



エコライザー磁性式衝撃吸収システム
アブソーバーの動きを磁力でコントロール
しているので気温や湿度による外的要因の
影響を受けにくくなっています。



減圧装置：エコバルブ機能
減圧バルブが小型化されることで
発射時の振動が抑制できます。同時に、
空気の排出量が低減されましたので、
シリンダー内の空気の節約にも繋がります。



信頼の置けるインサイトアウトマイクロサイト
移動距離の正確さで有名なヘンメリーの技術を、
独自改良したマイクロサイトを使用。つまみを引き
空転させることでのメモリの0合わせができます。
サイトレールはアンシュッツと同じ規格です。
(コンペティションのみ別のサイトが付属)



ローディングインジケータ
今までのワルサーの銃は弾を込めたときに
目視で確認が困難でしたが、ローディング
インジケータが付いた事により、コッキング
レバーを下した状態で弾の装填が確認できます。



スモールボアライフル

2015年にワルサーから発表された新型のスモールボアライフルは最近主流になってきたショートボルトだけでなく、より正確な射撃を行うための技術を費やして設計されたモデルです。

姿勢変更のためのバットプレートとチークピースの交換が簡単に出来るようになり、今までワルサーのスモールボアライフルを考えていなかった選手にも自信を持ってお勧めできる仕上がりになっています。

装填口に細かいギミックが付いていないので今までどおりシンプルに使用でき、射撃に集中できます。
新しいストックはスマートに洗礼されたデザインになっており、より使いやすくなっています。

電子トリガーとメカニカルトリガーはユニットごとの交換で付け替え可能になっているので銃所持後でも切り替えが可能です。

ワルサーKK500 エキスパート



全長 96.0cm

重量 6.0kg

バットストックから左右に動かすことができ、チークピースとバットプレートの固定は工具不要。

ワルサーKK500 アナトミック



全長 97.0cm

重量 5.9kg

ラミネート素材が反動をマイルドにし、接続部分には金属パーツを採用して必要十分なセッティングが出来るモデル

ワルサーKK500 エキスパートライトバレル



全長 92.0cm

重量 5.6kg

ストックはエキスパートと同じですが銃身が短く細くなり軽くなったモデル。
アナトミックライトバレルもご用意できます。

ワルサーKK500の主な特徴につきましてはカタログをご覧ください。

KK500 カタログ

ショートボルト採用の理由

- 短く軽くなったストライカーを使用することでロックタイムが短くなり、トリガーを引いてから弾が発射されるまでの時間が短くなります。また、ストライカーの叩く位置も従来の薬莢上部から薬莢下部へと変更しており、重力で下に溜まる火薬を効率よく燃焼させます。
- 装填口をトリガーに近づけることにより、弾を込める時に右手を伸ばす距離が短くなり従来よりも姿勢を崩さずに撃ち続けることができます。
- バレルの接続も機関部に寄り、重心のバランスも良くなっています。

新型ボルト

- ロックラグを均等に3箇所配置して弾の発射時の衝撃をボルトが安定して受けることができます。衝撃の発生源の弾の位置も体に近い為、反動も受けやすくなります。
- ワルサーの新型のボルトは付属のロッドガイドにはめ込み、簡単に左右の交換ができます。立射時に装填作業をすべてサポートハンドで行うこともできます。
- 装填口の上にもサイトレールが付いており、好きな位置にサイトを取り付けることができます。

エアピストル

LP500 今までにないモジュラーシステムを採用してお好みの銃にカスタマイズできます。

電子トリガーとメカニカルトリガーは銃の所持後でも交換できるので試して好みのトリガーを選択することも可能です。

重量も非常に軽く910gとなっております。現在主流のステイヤーよりも軽くなっており、腕への負担を軽減できます。

バレルジャケットの交換で更に50g以上軽くすることも可能です。もちろんウェイトで重くすることも可能です。

ワルサーLP500 エキスパート



全長 38.5cm

重量 910g

LP500のスタンダードな上位モデル。

ワルサーLP500 ファイネスト クラフトマンシップ



全長 38.5cm

重量 930g

LP500 はモジュラーシステムを採用し、グリップサイズはもちろんのこと、特注で各部品の変更やロゴ、トリガー、コンペンセーターのカラーも変えることができます。

ワルサーLP500の主な特徴につきましてはカタログをご覧ください。

[LP500 カタログ](#)